

中毒研究

第29巻 総目次

2016年

第1号 (Vol. 29, No. 1) ~ 第4号 (Vol. 29, No. 4)

この総目次は、第29巻第1号~第4号に掲載された全論文・記事を、掲載項目別にまとめたものである。
タイトル；サブタイトル／執筆者名……掲載頁

巻頭言

- 第1号 (Vol.29, No.1)
第38回日本中毒学会総会・学術集会開催にあたって／堀 寧…………… 1

総 説

- 第1号 (Vol.29, No.1)
海洋危険生物
食べて中毒；とくに魚について／長島裕二，他…………… 3
刺されて中毒；とくにクラゲについて／永井宏史…………… 10

特 集

- 第2号 (Vol.29, No.2)
●第38回日本中毒学会総会・学術集会抄録
[大会長講演]
私を中毒学会に引き込んだグルホシネート中毒について／堀 寧…………… 128
[特別講演]
日本中毒情報センターの過去・現在・未来／吉岡敏治…………… 130
[シンポジウム~急性中毒温故知新~1
過去の中毒事案を振り返る]
1. 松本サリン事件／奥寺 敬…………… 134
2. 和歌山毒物カレー事件／篠崎正博…………… 136
3. 新潟毒茶事件(アジ化ナトリウム)／伊藤達朗 …… 138
4. いまだに謎のスギヒラタケ脳症／権守邦夫…………… 140
5. 硫化水素を用いた自殺／伊関 憲…………… 142
[シンポジウム~急性中毒温故知新~2
危険ドラッグはどうなったのか？]
1. 危険ドラッグで死なくなったのか
見つからなくなったのか／本村あゆみ…………… 144
2. 中毒臨床／小林憲太郎…………… 146
3. 振り返り／上條吉人…………… 148
4. 日本の薬物依存症対策／朝倉崇文…………… 150
[日本中毒学会合同委員会特別企画~急性薬物中毒加算
に追加すべき「分析が有用な薬物」について]
1. 品目提案／藤田友嗣…………… 154
2. 原因物質分析の意義／坂本哲也…………… 155
3. 中毒の概要と頻度／波多野弥生…………… 157

4. 急性薬物中毒加算に向けた分析法の解説／齊藤 剛…………… 158
5. 診療報酬対策／清田和也…………… 159
[教育講演]
1. 自然毒中毒の診断と治療(ドクササコ中毒)／登木口進…………… 162
2. 中毒診療における薬物血中濃度測定と評価(循環器疾患用剤のTDM)／上野和行…………… 164
[日本毒性学会連携合同セミナー~金属中毒の基礎と臨床]
1. タリウム中毒診療の実際／藤野靖久…………… 168
2. 金属中毒の基礎的考察／吉田武美…………… 170
[急性中毒標準治療ワークショップ]
オーガナイザーの言葉／坂本哲也…………… 174
[日本臨床救急医学会ジョイントセミナー]
救急認定薬剤師のための中毒標準治療セミナー／織田 順…………… 175
[分析委員会ハンズオン・セミナー]
「中毒起因物質の迅速スクリーニング・前処理法」開催にあたって／藤田友嗣…………… 177
[モーニングセミナー]
リスクが潜む医薬品の個人輸入／高梨 宏…………… 180
[ランチョンセミナー]
1. 薬物動態モデルを利用した濫用者の覚せい剤摂取後の時間経過推定／松原和夫…………… 181
2. アセトアミノフェン中毒における肝障害発症のリスクファクター／三瀬雅史…………… 183
3. LC-MSの基礎／眞野成康…………… 185
4-1. 代表的な分析前処理法について／藤田友嗣…………… 189
4-2. 中毒分析におけるLC-MSMSの紹介／滝埜昌彦…………… 190
[一般演題1 医薬品1]
1. 致死量のカフェインを服用し、病着後に心室細動となったがVA-ECMOを導入し救命した1例／人見 秀…………… 192
2. カフェイン中毒により心室細動をきたし蘇生した症例／遠矢 希…………… 192
3. 妊娠7週での急性カフェイン中毒／植山 徹…………… 193
4. 重症カフェイン中毒に対し血液透析が有効であった一例／上村夏生…………… 193
5. 血液透析が奏功した急性カフェイン中毒の2例／宮本和幸…………… 194
6. 急性カフェイン中毒に血液透析法は有効か？透析除去率などの検討／芳澤朋大…………… 194
[一般演題2 医薬品2]
7. アモキサピンの過量内服により難治性の痙攣、高体温、乳酸アシドヘシスを来たし死亡した1例／

井上哲也	195	34. 当院に入院となった高齢者(65歳以上)中毒症例の 検討/土井智章	208
8. インターネットで購入した三環系抗うつ剤 アモキサピンを内服し、横紋筋融解症を生じた 未成年者の1例/相原史子	195	35. 日本中毒情報センターで受信した展着剤による 急性中毒症例の検討/高野博徳	209
9. レボメプロマジンによる向精神薬中毒の検討/ 古川智之	196	36. 薬物中毒死をどのように診断するか —検案からのアプローチ/松本博志	209
10. 遅発性の中毒症状から回復後に肺血栓塞栓症を発症 したカルバマゼピン過量服薬の1例/中嶋駿介	196	37. 急性薬物中毒時の静注脂肪乳剤療法適用における 薬物 log P 値の評価(第2報)/森川 剛	210
11. 重症ラモトリギン中毒に対する静脈脂肪乳剤(IIE) 療法と血液浄化療法の効果/吉永雄一	197	38. 鉛は本当に活性炭に吸着しないのか? —活性炭吸着療法が推奨されない物質に対する <i>in vitro</i> 吸着実験/友田吉則	210
12. 大量服薬により心室性頻拍を呈した ジフェンヒドラミン中毒の1例/熊川靖章	197	39. 急性二酸化炭素中毒モデルラットを用いた プレコンディショニング効果とそのメカニズムの 検討/岡崎友香	211
13. 死因究明に薬毒物検査が決め手となった7事例 —コルヒチン中毒とジフェンヒドラミン中毒/ 奥田勝博	198	[一般演題7 業務体制など]	
[一般演題3 危険ドラッグ・その他]		40. 救命救急センター開設後の中毒診療の変化と 今後の課題—地域包括での中毒患者診療の 方向性を考える/森田正則	211
14. 危険ドラッグ吸入によりびまん性肺胞出血(DAH) をきたした1例/竹内 亮	198	41. 一酸化炭素中毒患者のドクターヘリ搬送/ 岩瀬史明	212
15. 危険ドラッグ(脱法ハーブ)使用者の診断に当たって の問題点/柳川洋一	199	42. 救急医による薬学生を対象とした中毒教育の 取り組み/廣瀬智也	212
16. 救急搬送例からみた北海道における危険ドラッグの 現状と課題/森野太一	199	43. 病院間連携により中毒薬物血中濃度を緊急検査する ネットワーク構築に関する調査/松田 潔	213
17. 野菜の煮汁が原因と考えられたメトヘモグロビン 血症の幼児の一例/宮下智行	200	44. 当院における TriageDOA [®] の検査状況および AMP 確認試験実施状況について/今村 綾	213
18. ヘリウムガス中毒の1例/加藤文崇	200	45. 法医学解剖における中毒統計調査に向けた薬物 スクリーニングメソッド構築の取組みの紹介/ 前橋恭子	214
19. 自殺目的にヘリウムガスを吸入し、低酸素脳症を きたした1例/広瀬由和	201	[一般演題8 家庭・工業用品1]	
[一般演題4 自然毒]		46. 急性一酸化炭素中毒による心電図異常とびまん性 壁運動低下を認めたが心筋逸脱酵素上昇を伴わず 高気圧酸素治療により軽快した一例/園部藍子	214
20. シキミ中毒の1例/小島直樹	201	47. 間歇型一酸化炭素中毒の危険因子について/ 北元 健	215
21. テトロドトキシン中毒: 明らかなフグ摂取の病歴が なかった一例/多田祐介	202	48. 急性一酸化炭素中毒レジストリーCOP-J study 参加施設における急性一酸化炭素中毒の治療方針に ついて/藤田 基	215
22. バイ貝の摂取によりテトロドトキシン中毒を発症し、 経時的なテトロドトキシンの血中濃度の測定を行う ことができた一例/松田知也	202	49. 可及的早期に入手したホメピゾール投与と 血液浄化療法にて管理したエチレングリコール 中毒の一例/野坂英樹	216
23. ニホンヤマカガシ毒とタイリクヤマカガシ(中国産) 毒の各種生理活性の比較/小森由美子	203	50. 集学的治療により救命できたエチレングリコール 中毒の1例/高野啓佑	216
24. セアカゴケグモ毒素の採取と粗精製、毒素の性状に ついて/沢辺京子	203	51. エチレングリコール中毒に対して fomepizole を 使用した2例の報告/天野浩司	217
25. セアカゴケグモ咬傷に対する抗毒素療法の現状と 課題/一二三亭	204	52. エチレングリコール中毒患者の血液ガス検査で 機器間差が生じた事例/北條達也	217
26. セアカゴケグモ抗毒素の製造と非臨床試験/ 山本明彦	204	[一般演題9 医薬品4]	
[一般演題5 医薬品3]		53. 入院時血中濃度不明時の炭酸リチウム中毒治療法の 検討/汐月信仁	218
27. 救命しえたアムロジピン等薬物大量服薬の一例/ 榊 康晴	205	54. 当院における過去5年間の急性リチウム中毒 10症例の検討/梅澤耕学	218
28. 難治性ショックを呈したCa拮抗薬中毒の一例/ 林奈優佳	205	55. 当院救急外来に搬送されたリチウム中毒を検証して/ 山本康之	219
29. 81歳、アムロジピン中毒に対しイソプロテレノール が有効であった一例/蛭原 健	206	56. リチウムを含む薬物中毒に対して透析療法が 著効した1症例/林 友和	219
30. 急性心臓死患者における高カリウム血症とレニン- アンギオテンシン系阻害薬服用履歴の関係に 関する検討/小野寺誠	206	57. 帯状疱疹に対するアシクロビル投与で、急性腎不全と 脳症をきたした正常腎機能者の1例/出雲明彦	220
31. 外用消毒薬服用によるナファゾリン中毒の1例/ 早野大輔	207	58. アシクロビル脳症(アシクロビル中毒)を発症した	
32. 抗菌薬による脳症の経験/井口成一	207		
[一般演題6 統計, 治療法の研究]			
33. 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 50年間の症例から見た中毒症例の変遷/ 射場治郎	208		

透析患者の1例／清水弘毅	220
[一般演題 10 医薬品 5]	
59. アスピリン中毒として加療した2症例の経験 —リアルタイムな血中濃度測定の必要性と 困難性／伊藤宏保	221
61. ゼプリオン® 水懸筋注による中毒症状を呈し、 経時的にパリペリドン血中濃度を測定した一例／ 西田岳史	222
62. 認知症患者による抗認知症貼付剤の大量貼付による 急性リバスチグミン中毒の1症例／鈴木善樹	222
63. チメピジウム臭化物投与後に急死した一剖検例／ 浅野水辺	223
64. 抗酒薬の種類により飲酒後の反応に著明な差を 認めたシアナミド-アルコール反応に伴う ショックの一例／小川 瞳	223
[一般演題 11 農薬]	
65. 剖検にて頸胸髄の融解壊死を認めた クロルフェナビル中毒の一例／小橋大輔	224
66. クロルフェナビルによる急性中毒症例 36 例の 検討／今田優子	224
67. 当施設における農薬中毒 35 例の検討／新田正和	225
68. IPC 乳剤服毒による遅発性のメトヘモグロビン 血症を呈し、メチレンブルー投与を行った1例／ 吉武邦将	225
69. Open Abdominal management を施行した 薬物中毒の1例／高山和之	226
70. difethialone 含有殺鼠剤による自殺未遂の一例／ 阿部 崇	226
[一般演題 12 家庭・工業用品 2]	
71. 診断に難渋したメタノール中毒の一例／鈴木秀鷹	227
72. 視神経障害を来し MRI にて特徴的な所見を示した 急性メタノール中毒の一例／児島正人	227
73. 脳浮腫から脳死に至ったメタノール中毒の一症例／ 井上 彰	228
74. ホメビゾールを投与した急性メタノール中毒の 1例／小林正人	228
75. ホメビゾールと血液透析で治療した慢性腎不全 合併の急性メタノール中毒／高見浩樹	229
[一般演題 13 家庭・工業用品 3]	
76. トイレ用酸性洗剤 (サンポール®) 服用後に 縦隔気腫を認めた一症例／木戸勇介	229
77. 次亜塩素酸ナトリウム製剤 (トイレハイター®TM) による食道狭窄予防に、ステロイド局注療法を 行った1例／藤田 亮	230
78. 多彩な経過を示した水酸化ナトリウム飲用による 重症中毒症例／千代孝夫	230
79. フッ化水素暴露に伴う疼痛に対してグルコン酸 カルシウム動脈内投与が有効であった一例／ 川田真大	231
80. ポリマーヒューム熱の1例／藤井公一	231
[一般演題 14 分析, 動態研究]	
81. ミノキシジル中毒における分析機器を使った 血中濃度測定／鮫島一郎	232
82. オキサトミドが検出された転落死事例／福家千昭	232
83. 亜セレン酸ナトリウムが検出された一剖検例／ 加藤菜穂	233
84. GC-MS による血清中ミリスチシンの分析／ 斉藤 剛	233
85. GC-MS による β 受容体遮断薬の多成分同時測定系	

確立に向けた検討／安藤基純	234
86. LC/QTOF-MS を用いた薬物スクリーニング法の 検討／安部寛子	234
87. 静注用脂肪乳剤の持続静注によるパリペリドン 体内動態の変化：過剰経口投与ラットモデルを 用いた酢酸リンゲル液持続静注との比較／ 榎屋友幸	235
[医・薬学生ポスター発表]	
1. 中毒時における薬物動態パラメータの応用 —既存のパラメータから、服薬量、経過時間を 推定するために／西郷峻資	238
2. 自然毒の毒性を回避する方法の中に潜む化学／ 堀 翠	239

最近のトピックス

第4号 (Vol.29, No.4)

●カフェイン中毒

カフェインの基礎毒性学／福本真理子, 他	339
急性カフェイン中毒の現状／平川昭彦, 他	343
わが国におけるカフェイン中毒；含有製品と 発生状況の現状／遠藤容子, 他	347

原著論文

●第1号 (Vol.29, No.1)

吸入により二次被害を起こし得る化学物質を摂取した 傷病者の搬送に関する、ドクターヘリ機内および救急車 内におけるリスクアセスメント／竹川良介, 他	16
危険ドラッグ中毒の深刻化の現状／明石暁子, 他	21

症例報告

●第1号 (Vol.29, No.1)

臭化ジスチグミン内服中に腸閉塞をきたし急速に呼吸不全 に至ったコリン作動性クラーゼの1例／ 小林和紀, 他	26
---	----

●第3号 (Vol.29, No.3)

アムロジピンの消失半減期が遅延した大量服薬の1症例／ 榎屋友幸, 他	243
トルフェンピラドと有機リン系殺虫剤を服用し、24時間 以内に脳死が疑われる状態となった1例／ 伊坂 晃, 他	247

●第4号 (Vol.29, No.4)

ヘリウムガス吸入による自殺完遂の1例／ 山村英治, 他	355
--------------------------------	-----

症例短報

●第1号 (Vol.29, No.1)

高度の高アンモニア血症を呈したが症状が傾眠・ふらつき のみであった急性バルプロ酸中毒の1例／ 廣瀬智也, 他	30
急性シロシピン中毒によるセロトニン症候群を呈した キノコ中毒の3症例／鈴木景子, 他	33

●第3号 (Vol.29, No.3) おすそ分けで食し麻痺性イレウスを呈したバイケイソウ 中毒の1例/出口善純, 他……………	251
●第4号 (Vol.29, No.4) フェニトインおよびレベチラセタムを常用していたが, フェニトインの大量服用による急性中毒の経過中に 痙攣発作を認めた1例/北元 健, 他……………	360
カバキコマチグモ咬症による広範な症状に対して局所 温熱療法が有効であった1例/大林正和, 他……………	363
小児の急性薬物中毒が虐待であった1例;薬物誤飲は 虐待に留意すべきである/新谷 裕, 他……………	365

シリーズ：日本毒性学会との連携

基礎から臨床へのトランスレーショナルトキシコロジー

●第3号 (Vol.29, No.3) 地下鉄サリン事件被害者の後遺症状について/ 石松伸一……………	264
●第4号 (Vol.29, No.4) 一酸化炭素産生酵素ヘムオキシゲナーゼ誘導の毒性学的 意義/吉田武美……………	378

シリーズ：解毒薬

●第1号 (Vol.29, No.1) 炭酸水素ナトリウム/北元 健……………	41
●第3号 (Vol.29, No.3) キレート剤/高野博徳, 他……………	259
●第4号 (Vol.29, No.4) プラリドキシム/小澤昌子, 他……………	371

中毒中級講座

●第1号 (Vol.29, No.1) 境界性パーソナリティ障害を有する中毒症例への対応/ 日野耕介……………	36
●第3号 (Vol.29, No.3) 蘇生ガイドラインの改訂と中毒症例に関する対応/ 井上貴昭……………	253
●第4号 (Vol.29, No.4) 痙攣の管理/山本奈緒, 他……………	367

文献紹介

●第1号/64, 第3号/312, 第4号/385

分析委員会だより

●第1号 (Vol.29, No.1) 中毒起因物質の実用的分析法;前処理法からスクリー ニング分析まで(3) 生体試料からの薬毒物の前処理法について; 液液抽出(ケイソウ土カラム)法・QuEChERS法・ モノリススピнкаラム法/藤田友嗣, 他……………	50
●第3号 (Vol.29, No.3) 中毒起因物質の実用的分析法;前処理法からスクリー	

ニング分析まで(4) LC-MS/MSおよびGC-MSを用いた生体試料中の 薬毒物のスクリーニング/藤田友嗣, 他……………	268
●第4号 (Vol.29, No.4) 中毒起因物質の実用的分析法;前処理法からスクリー ニング分析まで(5) GC/MS/MSの基礎と薬毒物分析への応用/ 草野麻衣子, 他……………	387

事例調査・研究委員会だより

●第3号 (Vol.29, No.3) 「グリホサートカリウム塩を含有する除草剤による中毒 —多施設共同調査」の報告と御礼/上條吉人……………	273
---	-----

クローズアップ

第4号 (Vol.29, No.4) ●日本中毒情報センター設立 30周年 日本中毒情報センター 30年の歩み/吉岡敏治……………	394
日本中毒情報センターと日本中毒学会/清田和也……………	403
日本中毒情報センターと学会機関誌とのかわり/ 水谷太郎……………	406
日本中毒情報センター設立 30周年記念式典に参加して/ 伊関 憲……………	408

トピックス：家庭用品の安全対策

●第1号 (Vol.29, No.1) 家庭用防水スプレー製品等による健康被害状況と その安全対策/河上強志, 他……………	45
--	----

国際委員会だより

初めての海外学会発表

●第3号 (Vol.29, No.3) 初めて海外で学会発表して感じたこと/鈴木康仁……………	276
--	-----

海外の中毒学会から

●第1号 (Vol.29, No.1) 「APAMT 2015」参加記/伊関 憲, 他……………	56
---	----

中毒情報センターから

●第1号 (Vol.29, No.1) 化粧品等による急性中毒事故に関する問い合わせ 実態調査/渡辺晶子, 他……………	59
●第3号 (Vol.29, No.3) 2015年受信報告/ 公益財団法人日本中毒情報センター……………	279
●第4号 (Vol.29, No.4) 新しいたばこ製品による中毒事故;製品の現状と 日本中毒情報センターの受信状況/飯田 薫, 他……………	411

海外中毒情報文献

●第1号/65, 第3号/313, 第4号/386

クリニカル・トキシコロジスト 認定試験問題 解答・解説

●第1号/66, 第3号/314

学会抄録

●第1号 (Vol.29, No.1)

第5回日本中毒学会九州地方会発表抄録…………… 68

第27回日本中毒学会中国四国地方会一般演題発表抄録 … 74

●第3号 (Vol.29, No.3)

第30回日本中毒学会東日本地方会一般演題発表抄録 … 317

●第4号 (Vol.29, No.4)

第36回日本中毒学会西日本地方会一般演題発表抄録 … 417

日本中毒学会からのお知らせ

●第1号 (Vol.29, No.1)

第38回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内

(第3報)…………… 77

第31回日本中毒学会東日本地方会のお知らせ

(第1報)…………… 78

第37回日本中毒学会西日本地方会開催のお知らせ

(第1報)…………… 78

第28回日本中毒学会中国四国地方会学術集会のお知らせ

(第1報)…………… 78

第7回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ

(第1報)…………… 78

日本中毒学会 定款・定款施行細則 …………… 79

日本中毒学会 認定制度規則・施行細則 …………… 85

日本中毒学会 役員・評議員・各種委員会名簿 …………… 88

日本中毒学会 認定クリニカル・トキシコロジスト一覧 … 91

●第3号 (Vol.29, No.3)

第39回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内

(第1報)…………… 332

第31回日本中毒学会東日本地方会のお知らせ

(第2報)…………… 332

第37回日本中毒学会西日本地方会開催のお知らせ

(第2報)…………… 332

第7回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ

(第2報)…………… 333

第28回日本中毒学会中国四国地方会学術集会のお知らせ

(第2報)…………… 333

●第4号 (Vol.29, No.4)

第39回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内

(第2報)…………… 423

第31回日本中毒学会東日本地方会のお知らせ

(第3報)…………… 423

第37回日本中毒学会西日本地方会開催のお知らせ

(第3報)…………… 424

第7回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ

(第3報)…………… 424

第29回日本中毒学会中国・四国地方会のお知らせ

(第1報)…………… 424

臨床中毒フォトコンテスト

●第1号 (Vol.29, No.1)

まむし草/石澤不二雄

●第3号 (Vol.29, No.3)

ジギタリスの花/森 博美

●第4号 (Vol.29, No.4)

我が家の庭のアミガサタケ/福本真理子